

BY BLUE

Vol.
10

2002
SPRING



特集

パートナーシップで進めよう！
21世紀・水環境保全へのアプローチ

ボクたち、ワタシたちも
はじめています！環境学習

玉川小学校・五領小学校

去年私は久しぶりに行ってみたが、

このあたりだけは、昔も今も変わっていない。

明治初年の空気のまだそのままに残っている

市街は、恐らく関西では大津であり、

大津のうちでは疏水の附近だけであろう。

横光利一『琵琶湖』より

「定本 横光利一全集第13巻」
(河出書房新社)



琵琶湖疏水

福島県に生まれ、父の仕事により各地を転々とした利一が大津に住んだのは、10歳から12歳までと、26歳の新婚の頃。「新感覚派」と呼称され、「表現主義」の牙城として注目された利一。彼にとって琵琶湖畔のこのまちは、いつまでも無邪気な少年の輝きをよみがえらせてくれる、やさしい郷愁に満ちたまちであったようだ。

琵琶湖・淀川流域のグルメをぐるっとネット

B.Y.グルメホット
寒天 高槻市

地勢、気候、水が作り出した 伝統食品

食物繊維がいっぱいで低カロリー。今や健康食品、ダイエットフードとしても大注目の寒天。この寒天づくりが、淀川流域のまち・高槻の伝統産業であることを皆さんはご存じでしたか？

テングサという海藻を煮溶かして固めたものを、寒冷な大気にさらして作られる寒天。高槻の寒天づくりは、マイナス6度から摂氏6度という1日の気温の格差、そして当地の質の良い、おいしい水によって支えられ発展したと言われてます。

伏見の美濃屋太郎左衛門が発見した寒天づくりが、摂津(大阪府) 島上郡原村(高槻市)に伝わったのが明和年間(1764~72)。美濃国加納藩主永井家の領主・宮田半兵衛が、この地の地勢、気候、そして水質が寒天製造の条件に適していることに着目し、大規模な寒天製造をはじめました。一時は、高槻の寒天が、中国や東南アジア、ハワイ、はたまた欧米にまで、海外20数か国に輸出されるほどでした。

ツルンとさわやかなのどごし

工業寒天の発達などにより、全盛期50戸余りあった寒天の作り手も、今では市内で数戸に。それでも高槻には、「寒天発祥の地」の伝統がしっかりと今に受け継がれています。

阪急電車「高槻市」駅前のスーパーで手に入れた高槻特産天然糸寒天「白天餉(はくてんげ)」。ラベルに記された通りに調理して、キュウリ、ワカメを添えてゴマ三杯酢で甘酸っぱさからまって、素朴な風味がツルンとのどを通過していきます。これからの季節にぴったりの、食欲をそそる一品です。

そして、天保年間創業・田辺屋の銘菓「冬籠り」とともに高槻名物となっているお菓子が「夏籠り」。4月~10月のみ製造されるこの冷菓は、高槻北部の摂津耶馬溪のほとりでできた寒天が主原料。ほのかな甘味、涼やかな色どりとともに、さわやかなのどごしが楽しめます。

寒冷な空気ときれいな水によってできる寒天。これからの季節こそ、その味わい深さが発揮される時です。



パートナーシップで進めよう！ 21世紀・水環境保全への アプローチ

「水の世紀」とも言われる21世紀

しかし現在、水をめぐる紛争や水不足、水質汚染...といった世界各地で発生している水問題は、将来においても人類、地球の存続に影響を及ぼしかねないほど大きな問題になってきています。

今、この水問題解決のために求められているのは、一部の限られた国の人たちや研究者の行動だけでなく、私たち人類全ての行動です。

水のありがたさ、美しさ、水文化の尊さを身にしみて知っている私たち
私たちはきっと、世界の水問題においてもしっかりとパートナーシップを築き、十分に力を発揮していけるはず。

ここでご紹介するのは、皆さんとのパートナーシップを進めていく、水環境保全への2つのアプローチです。

世界水フォーラムへの大切なプロジェクト

ヴァーチャル・フォーラム

世界の水問題解決に向けて、「第3回世界水フォーラム」が来年3月、琵琶湖・淀川流域で開催されますが、この「ヴァーチャル・フォーラム」は、世界水フォーラムに向けてスタートした主要プロジェクトのひとつ。世界中のあらゆる人々が自由に参加できる、インターネット上に開かれた水に関する議論をするための場です。水問題について知識を得たり、世界中の人々の意見に耳を傾けたり、また、議論に参加することも...

そして、皆さんにとって、このヴァーチャル・フォーラムで議論を進めることが、世界水フォーラム参加につながる重要な活動となるのです。



琵琶湖・淀川のこれからを皆さんと一緒に考えたい

20世紀における琵琶湖・淀川水系の水質保全対策評価検討委員会

琵琶湖・淀川水系は固有種を含む自然生態系の宝庫であるとともに、飲用水・農業用水・工業用水として近畿1400万人の暮らしを支えてきた貴重な水資源です。私たちの暮らしに密着したこの琵琶湖・淀川の水系について、幅広い方々の知識や視点を参考に、水質事象と流域社会との関係や水質保全対策などについて、20世紀における変化をとりまとめ、今後の新たな水質保全のあり方を検討していきたいと考えています。



地域住民の皆さんとのパートナーシップを要に 20世紀における琵琶湖・淀川水系の 水質保全対策評価検討委員会

さまざまな視点を得るために

多層的な委員会の構成

本委員会は初の試みとして、地域住民を交えた多層的な委員会構成としています。公募に応じていただいた住民グループ(オピニオングループ)からなるグループ会議、グループ代表者と事務局からなる代表者会議、学識経験者および産業界から委員を迎えた評価検討委員会で構成され、代表者会議で委員会へ報告する内容を議論しています。

影響評価検討委員会

	氏名	所属	専門
委員長	芦田 和男	京都大学名誉教授 河川環境管理財団 研究顧問	河川工学
	宗宮 功	京都大学工学部教授	衛生工学(水質)
	住友 恒	京都大学工学部教授	衛生工学(水道)
	菅原 正孝	大阪産業大学人間環境学部教授	衛生工学(下水道)
	横村 久子	京都女子大学現代社会学部教授	生活文化
	嘉田 由紀子	京都精華大学教授	環境社会学・文化人類学
	山田 勝一	社団法人大阪工業会 環境推進小委員会副委員長 大気・水質・科学物質部会長 (株式会社クボタ環境安全部部长)	産業
	畑 律江	毎日新聞大阪本社芸芸部副部長	マスコミ・社会
	西野 麻知子	滋賀県琵琶湖研究所総括研究員	生態学
	近藤 直久	サントリー株式会社不易流行研究所課長	都市

(所属はH14.3末現在)

オピニオングループ

グループ名	
天の川を清流にする会	地域環境工学グループ
うどのクラブ	琵琶湖・淀川水系を考える会
川とまちのフォーラム・京都	水と文化研究会
近木っ子会議	川の会・名張
摂南大学 淀川愛好会	

住民活動に根ざした意見・評価を

代表者会議と

評価検討委員会

代表者会議では上は75歳から下は大学生まで、親子以上に離れた方々からなり生活者・利用者からみた水環境への「思い」、「気づき」、「自然感」など、実際の地域住民活動に根ざした意見、評価を数多くいただいています。

2月27日には第2回評価検討委員会を開催しました。そこに提出した資料は合計4回の代表者会議でグループ代表者の皆さんと議論した結果をとりまとめたものです。委員の方からは、よりグローバルな視点が必要であること、水質汚濁の根本原因は何か、人間の生活や意識の問題を今後どうすればいいのかなどの意見が出され、住民グループとも直接、意見が交わされました。

今後はこの委員会の議論を受けて、グループ会議、代表者会議においてさらに内容を深化させながら、報告書を取りまとめる予定です。

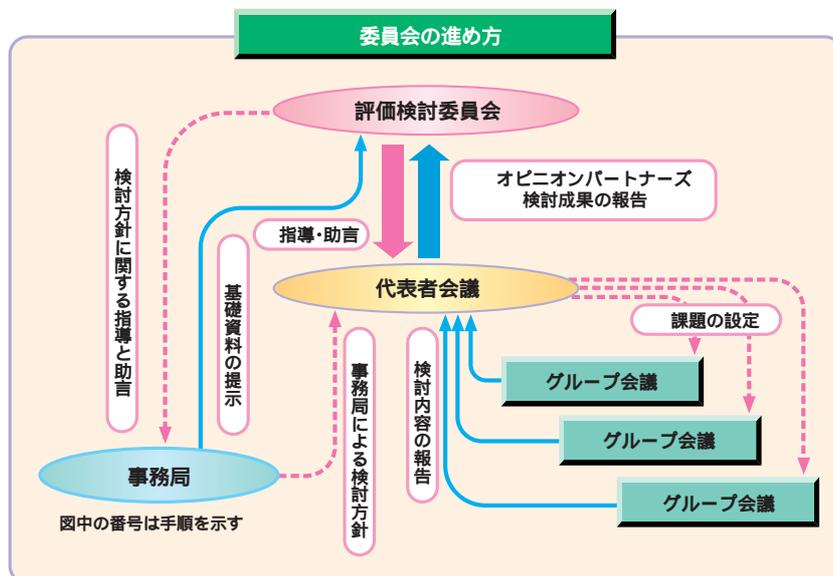


パートナーシップを考える貴重な試み

この委員会を契機に参加グループ同士の交流も始まっています。地域住民との共同作業による委員会運営は初の試みではありますが、事務局である我々も、住民グループの普段の積極的な水問題への取り組みを知るにつけ、自らの反省も含め、教えられることが多々あります。

これからの水環境の保全には「研究者」「行政」「住民」の連携(パートナーシップ)が重要になることはまちがいありません。本委員会での取り組みが今後の住民とのパートナーシップのありかたを考える上でも貴重な試みと考えています。

会議の内容は逐次HPで公開しております。本委員会での議論が広く供され、今後の水質保全対策の一助になることを希望いたします。



ヴァーチャル・フォーラムに 参加してみませんか！

私にとっても大きな楽しみ！



水の遊園地 次世代のための
水フォーラム 議長
菅原 正孝
(大阪産業大学人間環境学部教授)

2003年3月に開催予定の第3回世界水フォーラムの行事として、仮想水会議室「ヴァーチャル・フォーラム」がすでに活動を開始しています。世界水フォーラム本会議での、分科会開催のための基礎資料となる要素や意見を収集すべく、インターネットを通じて世界中に呼びかけていて、実は私も、当機構の支援を受けて会議室を一つ立ち上げています。

その会議室の主眼は、子どもの目からみた「水辺」について、世界各地の12,3歳前後の子供たちから情報を送ってもらうこと。寄せられた情報から、私自身の遠い子どもの頃を懐かしく思い出すこともしばしばです。

当時通っていた小、中学校は大阪市北区の淀川の近く。草ぼうぼうの、ほとんど自然のままの川原で遊んだ思い出は、今も柴島や長柄橋あたりを通ると鮮やかに甦ってきます。

琵琶湖との最初の出会いは、中学生になった夏休み。ドアもない三輪自動車の助手席に乗せてもらって福井県まで行く途中、近江舞子あたりで水泳をしました。炎暑の中、きらめく水がひときわきれいで、それは飲むにも十分でした。

大学に入って後半、院生時代には淀川、大川の水質調査にかかわることになり、さらに社会人となってから今に至るまで、淀川・琵琶湖はもっぱら研究対象となりました。そんなわけで今度のバーチャル・フォーラムは「昔子ども」の私の大きな楽しみ。皆さんの声もぜひ聞かせてください。



水の遊園地 次世代のための
水フォーラム 副議長
濱崎 竜英
(大阪産業大学人間環境学部都市
環境学科講師)

2002年1月、世界水フォーラムのヴァーチャル・フォーラムの一つ、「Water Amusement Park World Water Forum for the Next Generation」が小学校高学年を対象として開催されました。

子どもたちは、将来の国や地域、そして世界の「水」を支える重要な役割を担っています。「水」を語るためには「今」の人たちだけでなく「未来」の人たちにも語ってもらわなくてはなりません。そこでWater Amusement Parkでは、子どもたちが身近にある水辺の風景や生態などについてネット上に画像や意見（自慢や不満など）を紹介し、また紹介されている画像や意見について議論してもらうことにしています。より多くの子供たちに参加してもらうため、ヴァーチャル・フォーラムと並行して、専用ホームページを開設します。学校関係者や小学校高学年をお持ちの保護者の皆さん、総合学習や夏休みの課題学習の一つとして、検討してみてください。操作方法につきましては、琵琶湖・淀川水質保全機構や大阪産業大学の関係スタッフが可能な限り説明に参ります。

さあ！子どもたちも一緒にフォーラム



子供用Webサイト

タッチ・ザ・ウォーター

現在ヴァーチャル・フォーラム内の会話は英語で行われています。そこで(財)琵琶湖・淀川水質保全機構では日本語が使用できる子供用Webサイト『タッチ・ザ・ウォーター』を製作中です。ここでは会話形式の掲示板の他、水に関するニュース配信や、参加者からの投稿写真で作るフォトギャラリー、各種情報へのリンク集など、水に関するさまざまな情報を得ることができます。また、ボランティアの方々と協力しながら、水フォーラム事務局が運営する英語版のヴァーチャル・フォーラムと子供用Webサイトを結び、それぞれの意見がお互い見ることができるようになる予定です。

水問題は世界共通の課題です。ぜひこの機会に皆さんの意見を世界に発信してください。たくさんの方の参加をお待ちしています。

URL : <http://www.byq.or.jp/vwf/>
(4月中旬開設予定)

ボクたち、ワタシたちも はじめています

環境学習

暮らしのすぐそばにある川、湖、そして水 琵琶湖・淀川流域には、これらを貴重な学習のテーマとして、環境学習をすすめている子どもたちがいます。今回は大阪府内、2つの小学校の取り組みをご紹介します。



子どもたちのさまざまな 視点で淀川をみつめて

玉川小学校(大阪市)

大阪市福島区にある玉川小学校。ここでは5年生(2クラス55人)が昨年「出会いの学習(総合学習)」の時間を利用して、淀川をテーマに環境学習を進めてきました。

自分たちで淀川の水質を調べたり、川辺の植物や鳥を観察したり、河川敷の利用状況を調べたり…。あまりのゴミの多さに、「クリーン作戦」を実施し、ゴミ拾いも行いました。

「淀川の水は思ったより汚れているんだ」、「ヨシは水を浄化する作用があるんだ」…。それぞれの行動とさまざまな発見をくりかえすなかで児童たちは、淀川や水の環境に対する関心を高めていったようです。

北海道釧路市の、同じく環境学習に取り組む柏木小学



校とのテレビ会議や、滋賀県の琵琶湖博物館見学など、徐々に広がりを見せていった玉川小の環境学習。その成果は今年になって、児童自身が作成する新聞という形でもまとめられました(写真)。5年生担任の富永満美先生と西部隆行先生は、「これをきっかけに、子どもたちが環境保全という視点をもった人に成長していってくれれば」と話していました。

身近な「鵜殿のヨシ原」で 四季折々の自然体験

五領小学校(高槻市)

高槻市の五領小学校5年生(2クラス63人)は、学校にほど近い「鵜殿のヨシ原」を総合学習のテーマに、環境について学んでいます。

淀川のヨシ原のなかでも最大級の広さを誇る鵜殿には、ヨシやオギなどの植物が生え、さまざまな鳥や昆虫、



魚や小動物が生息しています。児童たちは、一年を通して変化する自然に親しみ、学習を深めていきます。

春先に足元で芽をだしていたヨシが、秋には5メートルの高さに伸びたのを見て、子どもたちは驚きの声をあげました。ヨシの生育のために、ポンプで上げていた川の水位が下がる秋には、わずかな水たまりに集まってきた魚たちを救出。持ち帰った魚は、今も学校の水槽で泳いでいます。「身近な自然と親しむなかで、さまざまな疑問にぶつかり、なぜなんだろうと調べ、理解を深めていく学習が子どもたちの心を豊かにし、問題を解決する力を身に付けると思っています」と五十里齋先生は話します。

3学期には市民グループ「鵜殿クラブ」とともに、ヨシを使ったコースター、壁飾り、立体風づくりを体験。その後、それぞれの興味や関心をもとに、水、動物、植物、文化の4グループに分かれ、2月に鵜殿学習のまとめを発表しました。



琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センターが 公募した水質浄化の共同実験が決まりました

国土交通省近畿地方整備局、滋賀県、水資源開発公団関西支社および当機構が共同運営する琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センターでは、水質汚濁の広域化、複雑化に対応するさまざまな水環境問題の解決に向けて、当センターの実験施設の一部を共用し実験を行うため、新しい技術を広く募集しています。

平成14年度実験では、一般実験およびテーマ実験を募集し、20者、22件の応募をいただきました。

応募実験に対しては、書類審査およびヒヤリングを実施し、当センター運営検討会において次の8件が共同実験に決定しました。今後、これらの実験で得られた成果により、琵琶湖・淀川水系の水環境改善の利用検討を行っていきます。

一般実験 実験に必要な費用は応募者が負担

- 「ポーラスコンクリートを用いたヨシ植栽実験（立命館大学）」
- 「生分解性吸着剤による窒素・リン成分の除去に関する実験」（京都工芸繊維大学）
- 「廃プラスチック製網状ブロックによる植生浄化実験」（アイン・エンジニアリング（株）・大阪府立大学大学院（株）西日本技術コンサルタント・麻生商事（株））

「固体水素供与体を用いた河川の直接浄化実験」（松下アムテック 株）

「ミジンコろ床法を用いた河川水の水質浄化実験（姫路工業大学）」

テーマ実験 実験に必要な費用は当機構が1件につき100万円を限度として負担

テーマ1：内湖やダム湖・副ダムなどを想定した浄化実験や浄化効果を発揮するメカニズム解析のための実験

「湧昇循環方式を用いた水質・底質の改善実験」（（株）高環境エンジニアリング）

「水質連続モニタリングシステムの開発実験」（京都大学大学院）

テーマ2：ヨシやハスなどの植物や、土壌・炭などの自然素材を利用した新しい発想の浄化実験

「Biyoセンターにおける雑草および汚泥の有効利用化実験」（東レエンジニアリング（株）・東レテクノ（株））

（ ）内は応募者名

平成14年度助成対象活動募集

琵琶湖・淀川の水質保全に関わる活動 に対し助成事業を行っています

助成の対象となる事業は以下の2項目です。

琵琶湖・淀川水系の水環境改善事業

- ・地域に密着した身近な水質浄化事業
- ・水質浄化事業に必要な材料調達システム作り及び材料調達
- ・水質浄化事業におけるリサイクル推進事業
- ・上記に関連する研究

琵琶湖・淀川の水辺を愛する活動

- ・水質の保全・改善に関する活動
- ・自然生態、親水、水源涵養の機能を保全・改善する活動
- ・水環境について知り、理解する活動

両助成ともに1件あたりの助成金額は30万円程度。助成金の使途は、助成目的を満足するものであれば、とくに制限は設けませんが、助成を受けた団体又は個人の事務所そのものの運営に関する経費、人件費等は除きます。

申し込み受付期間：～14年5月15日（必着）

上記助成を希望される団体・個人は応募様式に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

各助成の応募には助成資格を設けていますのでお問い合わせください

（財）琵琶湖・淀川水質保全機構企画開発部
☎06(6202)1267(代表)☎06(6202)1317
当機構のホームページでもご案内しています
<http://www.byq.or.jp>

平成13年度助成活動成果

当機構の助成を受けて行われた、3つの「琵琶湖・淀川の水辺を愛する活動」をご紹介します。

琵琶湖・淀川フレンドシップ実行委員会

代表：川本 勇

昨年7月に行われた「琵琶湖・淀川フレンドシップ企画」は、BSP（びわ湖ソングプロジェクト）が作った琵琶湖の歌を琵琶湖が流域にも広めるために、楽譜を舟に乗せて川を下るといったもの。三石船やヨシ舟を模った舟は、たくさんの人々に見守られながら、琵琶湖を出発し、宇治橋、淀川大堰を経て大阪市の天満橋に無事到着。天神祭



でにぎわう天神橋筋商店街では、琵琶湖の歌がライブで披露され、琵琶湖・淀川を愛する思いを伝えました。

天の川七夕星まつりの会

代表：平林和典

当会は助成を得て、枚方・交野市を流れる「天の川」を中心とした七夕伝承の地をたどる「天の川七夕ロマンウォーキング・マップ」を作成。「七夕マップで天の川を学ぼうキャンペーン」と銘打って、七夕マップを枚方市役所などで無償配布したほか、七夕マップを利用して天の川の源流を訪ねる「天の川ロマンウォーク」や「天の川七夕歴史講座」などを開催しました。これからも、親しみある天の川を中心に、さまざまな川辺の活動が展開されます。



鶴殿のヨシ原フェスタ実行委員会

代表：小山弘道

今回の「なんでや琵琶湖で 淀川・鶴殿ヨシ原」は、鶴殿のヨシ原の自然をテーマに、琵琶湖畔・大津市で開催。鶴殿をテーマとした作品展示やヨシのコスターなどの手作り体験、さらには雅楽器ヒチリキのろ舌（リード）作りの名人・奥田貞次氏を招いてのトークショーなど盛りだくさんに開催。延べ400人を超える来場者を集めました。



「母なる琵琶湖」
皆さんは琵琶湖に、どんな思いをお持ちでしょうか。琵琶湖は、豊かな自然と水量に恵まれ、流域に生きる人々の命の源となることも、生活にうるおいを与えてくれるなど、近畿圏の発展の基盤として大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、近年の琵琶湖は、社会経済の変化や気象変動等の影響を受け、北湖の低酸素化、外来種の繁殖などの生態系の変化、大きな水位変動等々多くの課題を抱えています。この琵琶湖の課題を解決し、未来にどう受け継いでいくか、今を生きる私たちにどう大きな課題といえます。

このような琵琶湖の課題を琵琶湖・淀川流域の共有の課題として受けとめ、解決に向けた自主的で具体的な取り組みへと広げているグループがあります。その一例をご紹介します。

この活動を通じて、人々の交流が盛んになり、水系の絵本づくりや勉強会の開催など、行政域を越えた県民、府民、市民間での交流が始まっています。

また、平成12年の渇水の折には、琵琶湖の湖岸清掃活動に、大阪から観光バスを使つて応援協力いただくなど、琵琶湖の水を大切にしたい」という思いを胸に抱き、それぞれが自分のできることを行動に結びつける取組みが始まっています。

「流域は一つ」という思いが、こうした素晴らしい活動につながっているといえます。

水への意識を共有する中で人と人との関係を築き、流域住民相互の交流を図っていく。このことが、21世紀の流域文化を創造していくことにつながるのではありません。いよいよか。

琵琶湖・淀川流域フレンドシップ実行委員会活動より



(滋賀県水政課)

BYQ-Net Meeting

Net Communication!

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構 賛助会員 (50音順)

あなたも 琵琶湖・淀川・水環境へアクセス!

琵琶湖・淀川の水環境情報やイベント情報をお届けしている当機構のホームページに、あなたはもうアクセスされましたか?特に、琵琶湖・淀川に関するご意見やご提案をお寄せいただいている「琵琶湖と淀川の水環境を語る会議室」では、新たな話題もアップされ、さらに盛り上がりの気配が...

話題の一つは、海外で、当機構同様に水質浄化や水環境保全に取り組む機関のレポート。アメリカ環境保護庁(EPA)、オハイオ川流域水質保全委員会(ORSANCO)など、これからの琵琶湖・淀川の水質保全への手がかりともなるさまざまな取り組みをご覧いただけます。

さらに、世界水フォーラムのプレイベントとして開催されたシンポジウム「水の自由化・商品化を考える」のレポートもご覧いただけます。水の商品化や、21世紀の人と水との関係をめぐるさまざまな意見をご紹介します。皆さんからご意見をいただき、議論を盛り上げていきたいと思っています。

この他にも、琵琶湖・淀川や水環境に関する話題がどんどんアップされていきます。皆さんからのアクセスをお待ちしています!

<http://www.byq.or.jp/bbs/>



琵琶湖・淀川・水環境に
関することなら、テーマ
は自由。お気軽に参加し
てください!

- (株)アイ・エヌ・イー関西支社
 - (株)アクアテルス琵琶湖事業部
 - (株)アスコ
 - (株)アーバン・エース
 - (株)和技研
 - (株)環境科学コーポレーション関西事業所
 - 近畿技術コンサルタンツ(株)
 - (株)ウリアス
 - (株)建設環境研究所
 - (株)建設技術研究所大阪支社
 - 国際航業(株)関西事業本部
 - 国土環境(株)
 - 滋賀県下水道保全事業協同組合
 - (株)修成建設コンサルタント
 - (株)新洲
 - 帝人エコ・サイエンス(株)
 - (株)東京建設コンサルタント関西支社
 - 東洋電化工業(株)
 - (株)トップエコロジー
 - (株)西日本技術コンサルタント
 - (株)日建設計シビル
 - (株)日水コン
 - 日本建設コンサルタント(株)大阪支社
 - 日本工営(株)大阪支店
 - 日本パイリー(株)
 - 日本メンテナンスエンジニアリング(株)
 - (株)ニージュック
 - パシフィックコンサルタンツ(株)大阪本社
 - 八千代エンジニアリング(株)大阪支店
 - (株)ユニチカ環境技術センター
- 計30社(含入会申込企業)

編集後記

BY BLUEも第10号ということで、少しではありますがイメージチェンジし、新しいコーナーを作ってみました。当機構では、住民の皆さんと一緒にこれからの水環境を向上させることを目指しており、この冊子を読んで一人でも多くの人に水環境について興味をもってもらえればと思います。

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構は、淀川水系における河川・湖沼の水質浄化技術及びこれに関連する技術に関する研究開発、水質浄化事業の支援等を行うことにより、淀川水系の水質保全に寄与し、もって潤いのある地域社会の形成と、関係住民の生活環境の向上に資することを目的としています。



財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構
Lake Biwa-Yodo River Water Quality
Preservation Organization